

「第二次西宮市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）中間改定（素案）」に対する 意見提出手続（パブリックコメント）の結果を公表します

「第二次西宮市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）中間改定（素案）」に対する意見提出手続（パブリックコメント）について、ご意見の概要とそれに対する市の考え方をとりまとめましたので公表します。

貴重なご意見をいただきありがとうございました。

※ いただいたご意見は、原則として要約したものを記載しています。

※ 個人・団体等への誹謗中傷など市が不適切と判断した内容や、個人等が特定される内容については、記載していません。

1. 意見募集結果概要

【意見募集期間】 令和5年（2023年）12月28日（木）

～令和6年（2024年）2月1日（木）

【意見提出者数】 5名

【意見提出件数】 25件

〈回答分類別〉

回答分類	説明	件数
①素案に記載済の内容です	いただいたご意見の内容は既に素案に盛り込まれています。	0
②素案を修正します	いただいたご意見をもとに素案を修正します。	1
③今後の参考・検討とします	素案の修正はしませんが、いただいたご意見は今後の参考（検討）にします。	10
④素案のとおりとします	ご意見の反映や対応が困難、または、市の考え方と方向性が合致しない内容です。	7
⑤その他	素案の内容と直接関係のないご意見、感想等（①～④に該当しないもの）。	7
	合計	25

問合せ先：西宮市環境企画課（ゼロカーボンシティ担当） TEL 0798-35-3818

2. ご意見の概要及び市の考え方について

No.	素案の項目 (ページ)	ご意見の概要	件数	市の考え方	回答 分類
1	第3章 西宮市の特性と市民・事業者の意識 (P. 22)	みどりの整備方針 ・街路樹の整備（切り倒されたまま放置されている街路樹の整備） ・駐車場の緑化（アスファルトの駐車場を減らすには税制面の対応が必要）を推進 ・日本は都市の緑が保全されておらず、輻射熱が遮断されないので夏が暑い。	1	まちなかの”みどり”は輻射熱の遮断や、快適な都市環境の形成に重要な役割を果たしております。街路樹については道路交通への支障や景観形成の優先度等を踏まえながら、伐採した樹木の補植に努めてまいります。引き続き、まちなかの”みどり”の保全・継承に努めてまいります。 また、本市では開発事業等におけるまちづくりに関する条例に基づき、開発事業に該当する敷地内の緑化指導を行うとともに、住まいの緑化助成制度により、住宅における敷地内緑化について普及啓発しています。引き続き、当該制度を活用することで緑化の普及啓発に努めてまいります。	③
2	第3章 西宮市の特性と市民・事業者の意識 (P. 23～25)	令和5年8月6日のワークショップの参加人数は16名とありますが、あまりにも少なすぎると思います。どのような広報の仕方でしたか？ また、西宮市は北部と南部での環境が違うので、各々の地域での複数回のワークショップを行うべきであった、と思いますがいかがですか？	1	計画改定に関するワークショップにつきましては、市民の環境に関する考えや意識などを把握するために、大学生から地域で環境に関する活動を行っておられる方まで幅広い年齢層の市民に参加していただき実施しました。 エココミュニティ会議への呼びかけの他、環境審議会、環境計画推進パートナーシップ会議の委員を通じて市内大学など学生への広報を行いました。 ワークショップなどにつきましては、様々な市民の皆様の意見をお聞きする上でより多くの方に参加してもらうことは重要と考えております。 ご意見をいただきました件も含め今後の事業実施の参考とさせていただきます。	⑤

3	第3章 西宮市の特性と市民・事業者の意識 (P. 26 他)	省エネ行動のひとつとして「追いだき」をやめるとありますが、夏場であれば水温が高いので追いだきの方がよいのではないのでしょうか？ 冬場は水温が低い（5℃）ので水を抜いて新たに沸かす方がよい、とガス屋さんに聞きました。	1	間隔をあけると水温が低下するので、風呂は間隔をあけずに入ること追いかきをせずに省エネになると考えております。	④
4	第3章 西宮市の特性と市民・事業者の意識 (P. 26 他)	東京都水道局のHP「水の上手な使い方 東京都」には、洗面、手洗いで1分間水を流しっぱなしの場合CO2排出量は約2.9g等々のより身近な行動がどれだけCO2排出量なのか、を記載しています。市民が取り組みやすいものを「市政ニュース」に連載して取り上げ、環境問題に感心の少ない人へも、目に止まるような発信をされるべきだと思います。HPは関心のある人しか開きません。	1	本計画においても資料編の資料15および概要版P.8～P.9において、家庭における省エネルギー取組メニューの記載をしています。ご指摘いただいた内容を踏まえ、今後、市民にわかりやすい広報に努めてまいります。	③
5	第4章 西宮市のこれまでの取組・二酸化炭素排出量の推移・今後の課題 (P. 27～44)	令和2年(2020年)はコロナ感染症の蔓延の影響がありエネルギー消費量が増加したとあります。令和5年(2023年)の5類移行後や、「2024年問題」があり運輸関係がどう変化するかをみてから、再度この計画を見直すべきだと思います。	1	本計画は平成31年(2019年)に策定し、計画期間は10年間となります。この度の中間改定は本後期計画(2024年～2028年)に向けたものであり、次回は第三次西宮市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)として令和10年(2028年)に策定予定です。	⑤
6	第4章 西宮市のこれまでの取組・二酸化炭素排出量の推移・今後の課題 (P. 32～34)	・概要版の西宮市の現状のグラフについて グラフの基準年度が、グラフによって年度が異なり、判りにくいです。 例えば、「再生可能エネルギー等の発電電力量の状況」の基準年度は、2010年度で算定表示されていますが、「再生可能エネルギー導入目標」のグラフの基準年度は、2020年度です。よく見ると、判るのですが、一目で分かるように、「基準年度」という表示を止めて「〇〇	1	ご指摘の箇所については前計画の「西宮市再生可能エネルギー・省エネルギー推進計画」の目標の達成状況をお示しするため記載しております。この計画は、計画期間を平成26年度(2014年度)～令和2年度(2020年度)とし、基準年度を平成22年度としておりました。この計画は、第3次環境基本計画の策定に合わせて、令和元年度に改定され、第二次西宮市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)に統合されています。 今後とも、わかりやすい表記に努めてまいります。	④

		〇〇年度」と表示にすべきと考えます。			
7	第4章 西宮市のこれまでの取組・二酸化炭素排出量の推移・今後の課題 (P. 35)	西宮市の家庭部門からのCO2排出量が38%とあるが、近隣の尼崎市や芦屋市の数値を教えてください。	1	本市の家庭部門の排出割合は国や県に比べ、排出割合が高い特徴があります。他市の地球温暖化対策実行計画（区域施策編）や同（事務事業編）の策定状況などが環境省のホームページにまとめられており、それぞれの市のホームページにリンクが張られております。詳細につきましては各市のホームページ等で確認をお願いします。なお、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）については、政令指定都市や中核市については策定義務がありますが、それ以外の市町村の場合は努力義務となっております。数値が公表されていない場合があります。 https://www.env.go.jp/policy/local_keikaku/sakutei_japan.html	⑤
8	第4章 西宮市のこれまでの取組・二酸化炭素排出量の推移・今後の課題 (P. 43)	これからの環境教育について。市という狭い地域で、昔のやり方、発想で続けてきた環境教育では対応できない。人材育成や現役世代、若い世代が活躍できる場が必要なのはその通りです。いかに参加してもらうのか。どうすればよいのでしょうか。国や県からの関与や情報提供も必要ですが、市でできることは強く取り組んでほしい。現状のEWCやエココミュニティ会議は期待できるのでしょうか？	1	EWCやエココミュニティ会議は、多くの市民、事業者等の参画の元、地域住民や子供たちに環境学習の機会を提供しております。 一方で、現在の取組は小学生とその周囲の大人を中心としたものになっており、中学生以上に向けた環境学習プログラムの開発や、生涯学習事業との連携強化などあらゆる世代が参加できる環境学習の取組を進めてまいります。	③

9	第5章 西宮市の二酸化炭素排出量の将来動向 (P. 45～47)	建設部門でもCO2は排出されます。今後、西宮市は多くの公共施設の建て替えがあり、耐震補強のための工事は必要であると言えます。しかし、「名神湾岸連絡線」建設は今後の人口減少や減少に伴う物流の減少もあるなか、目的のひとつである阪神高速3号神戸線の渋滞が現在と同じようにおこるかどうかもわかりません。工事期間が10年以上の長期にわたることはCO2の排出を抑制するという観点からみてどう説明されるのでしょうか？	1 名神湾岸連絡線は、大阪湾岸道路西伸部と一体的に整備することにより、阪神高速3号神戸線と国道43号に集中している交通を阪神高速5号湾岸線に分散し、阪神高速3号神戸線、国道43号や周辺道路の渋滞の緩和、交通安全性の向上、沿道環境の改善、災害時の交通ネットワークの多重化等の効果が期待されることから、大阪湾岸道路西伸部に遅れることなく整備し、供用する必要があると考えております。 市としましても、名神湾岸連絡線の工事の際にはCO2排出削減に取り組むよう、事業者に求めてまいります。	⑤
10	第6章 二酸化炭素排出量の削減目標 (P. 50)	表6-2において家庭部門に再生可能エネルギーの最大限の導入と省エネ行動の徹底とあります。再生可能エネルギーとして太陽光発電や「エコキュート」などがあげられますが、太陽光発電の使用年数を越えたパネルは廃棄するしかなく、廃棄物処理の観点からみてどうなのでしょう？ また、「エコキュート」などは低周波音が発生し、個人差があるとはいえ人への被害があるものなので、その点も並記することが必要ではないですか？	1 環境省において、「太陽光発電設備のリサイクル等の推進に向けたガイドライン」を公表しています。ガイドラインでは、使用済太陽光発電設備の解体・撤去、リユース、収集・運搬、リサイクル、埋立処分、被災した太陽光発電設備の取扱いをまとめており、本市としましても周知をしております。 エコキュートの低周波音による被害は、健康被害が明確でなく、個人差が大きいとため、並記することは考えておりません。	④
11	第6章 二酸化炭素排出量の削減目標 (P. 51)	再生可能エネルギー導入 ・小規模水力発電、(山陽新幹線六甲トンネル付近の湧き水など)の検討	1 小水力発電の特徴としては、年間を通じて安定した発電が可能という長所がある反面、採算性を確保できる発電量を維持するには安定した水量と落差がある適地が必要になります。 令和4年度(2022年度)に再生可能エネルギー導入ポテンシャル調査を行いました。2030年度における再生可能エネルギー導入の実現性や地域特性等の観点から、太陽光発電設備の導入を主軸とし、再生可能エネルギー導入目標を設定しております。	④

12	第6章 二酸化炭素排出量の削減目標 (P.51 他)	再生可能エネルギー等の発電電力量が、少量ですが増えているのは良いのですが、電力消費量の比率は、2020年度で3.3%、2023年度で3.8%です。その評価はどう考えるべきか。また、再生可能エネルギーの導入目標は、2028年度で、2020年度比1.7倍です。その評価もどう考えるのでしょうか。	1	市域における電力消費量に対して、再エネ比率を高めていくことが重要と考えています。FIT制度の買取価格の低下、整備に適した土地の確保等の課題により、その伸びは鈍化しています。今後は自家消費型太陽光発電設備等の導入を促進し再エネの地産地消を進めていきたいと考えています。	④
13	第6章 二酸化炭素排出量の削減目標 (P.54)	西宮市の1世帯あたりの電気使用量が全国のものより高い値で推移している原因は何であると考えておられますか？	1	世帯当たりの電気使用量については、世帯人数や在宅時間などにも左右されるため、単純な比較は困難ですが1世帯あたりの電気使用量について本市と全国の比較を行い、本市の方が高い値で推移していることをお示しすることで、今後も引き続き家庭内で省エネ行動を進めていく必要がある旨お伝えすることを目的に掲載いたしました。	⑤
14	第6章 二酸化炭素排出量の削減目標 (P.57)	市役所事務事業における温室効果ガス排出量削減量 ・誰もいないのに照明が点灯したままになっているのを見かけます。	1	市役所事務事業における温室効果ガス削減に向けて「第4次西宮市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)を策定し、「2050年ゼロカーボンシティにしのみや」を意識した環境配慮行動を推進することとしております。西宮市環境マネジメントシステムを運用し、不要な照明の消灯などエコオフィス活動について改めて周知徹底してまいります。	③
15	第7章 地球温暖化対策に向けた市民・事業者・行政の取組 (P.63)	家電製品は、単に省エネタイプに買い替えるだけでなく、修理やメンテナンス、正しい使用などが省エネに繋がることを記載すべきです。また、既存住宅をリフォームするだけでなく、簡単DIYで、断熱できることもあります。そういうことも記載すべきかと思います。	1	家電製品の正しい使い方や、創意工夫による断熱化は省エネにつながるものと考えます。今後取組を進めていく上で参考にさせていただきます。	③

16	第7章 地球温暖化対策に向けた市民・事業者・行政の取組 (P. 67～70)	<p>「事業者の行動」にもあるように輸送手段が変わってきます。名神湾岸連絡線建設には多くの問題を抱えています。もう阪神間には高速・高架道路は要りません。今津の街を（西宮市を）公害都市にしないでください。建設工事が始まればこの取り組みとかけ離れます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の健康を第一に考えてください。 	<p>1 名神湾岸連絡線は、大阪湾岸道路西伸部と一体的に整備することにより、阪神高速3号神戸線と国道43号に集中している交通を阪神高速5号湾岸線に分散し、阪神高速3号神戸線、国道43号や周辺道路の渋滞の緩和、交通安全性の向上、沿道環境の改善、災害時の交通ネットワークの多重化等の効果が期待されることから、大阪湾岸道路西伸部に遅れることなく整備し、供用する必要があると考えております。</p> <p>名神湾岸連絡線事業の実施による生活環境等の影響については、事業者に対して可能な限り環境影響を回避・低減するよう環境影響評価書にある環境の保全と創造のための措置の着実な実施を求めてまいります。</p>	⑤
17	第7章 地球温暖化対策に向けた市民・事業者・行政の取組 (P. 71～72)	<p>ごみの減量化及び資源化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生、中学生にごみ焼却場、下水処理場の見学および環境教育を制度化する。3R(減量、再利用、リサイクル) ・下水からリンを回収する設備を導入して循環型社会を目指す。 ・生ごみからバイオガスを生成する。廃棄てんぷら油から航空燃料を生成する。 ・過剰な食品などの包装（野菜、くだもの）をやめることにより、ごみの低減を図る。 	<p>1 現在、小学4年生の社会科見学の一環で、ごみ処理施設及び下水処理上の見学により環境教育を行っております。また、西宮市一般廃棄物処理基本計画を策定し、ごみの発生抑制（リデュース）と再利用（リユース）を優先する「2R」と「リサイクル」の2つを柱とする取り組みなどの啓発を行っています。その取り組みとして、小学校4年生を対象とした、ごみの出し方・分別方法・リサイクルなど環境への関心や理解を深めてもらうことを目的とした「出前授業」や、環境衛生協議会が実施する地区巡回相談会などを実施しております。</p> <p>リンを回収できる下水汚泥は兵庫東スラッジセンターに送泥しており、市独自でリン回収設備導入等の計画はございません。</p> <p>生ごみからバイオガスを生成するには、収集形態の見直し、または処理施設で生ごみを分別しバイオガスを発生させる大きな設備とガス抽出後の残渣と生ごみ以外の可燃ごみを処理する焼却施設を併設する必要があり、現敷地では整備することが不</p>	④

				<p>可能です。廃食用油から航空燃料にするには、製造コストが高く、質の良い油の収集方法や、製造する企業との連携が必要となる等の課題も多く、引続き業界の動向を注視してまいります。</p> <p>今後も引き続き、より一層のごみ減量と再資源化に努めてまいります。</p>	
18	第8章 二酸化炭素排出量削減に向けた施策 (P.79)	<p>自動車</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規購入する公用車は国産の電気自動車にする。 	1	<p>電動車導入方針を策定し、電動車の導入が困難な場合を除き原則電動車を導入することとしています。</p>	⑤
19	第9章 適応策の推進(西宮市地域気候変動適応計画) (P.84)	<p>昨今の状況から、適応策まで考える必要性を痛感しています。また、こういう状況になってしまっていることから温暖化への認識が深まるのではと思います。そういう意味で、憂鬱な緩和策をPRするより、現実の問題としての緩和策を、PR、広報が必要です。地域の防災対策に合わせて考えていく必要もあると思います。気候変動による、線状降水帯や台風による今までにない大雨や強風、逆に、干魃などにも備えていかねばなりません。</p>	1	<p>ご意見のとおり、本市としても適応策の重要性を踏まえ、本計画を「西宮市地域気候変動適応計画」として位置づけ、「緩和策」だけでなく気候変動に適応していくための「適応策」も併せて進めていくこととしております。今後も、気候変動への備えとしての適応策の普及啓発にも努めてまいります。</p>	③
20	資料編 (資-18)	<p>資料編で紹介されている太陽光発電施設は、2019年の実行計画で紹介されている施設と同じですが、この間新規の設置はなかったのでしょうか。その他、事業者や個</p>	1	<p>令和元年(2019年)以降の公共施設への太陽光発電設備の導入実績は、香櫨園小学校(2019年)、春風小学校(2020年)、西宮支援学校(2021年)、安井小学校(2022年)となっていま</p>	④

		人等の設置のデータはないのでしょうか。個人の導入状況の古いデータは、資料編に紹介されていますが、その評価は如何なるものでしょうか？		す。 市域における太陽光発電設備の導入状況については、本編 P. 34 の図 4-5 にお示しております。個人の導入は 10KW 未満が主体であると考えています。	
21	資料編 (資-31)	・資料編 語句説明に、カーボンプライシング、カーボンフットプリント、フードマイレージ などの言葉を追加したらどうか。本文中に記載はあるかはわかりませんが、承知しておくべき語句と思います。	1	市民ワークショップで出された主な意見で、カーボンフットプリント及びフードマイレージの記載があるため、追加させていただきます。	②
22	計画全体について	地球温暖化、地球沸騰化へ、より強い危機感の啓発活動を 西宮の山・川・海は、本当に素敵です。でも、このままでは、地球温暖化による海面上昇で、貴重な浜辺が無くなると知り、ショックを受けています。 昨年、グテーレス国連事務総長が、「地球沸騰化の時代が到来した」(The era of global boiling has arrived)」と発表しました。気象情報機関「コペルニクス気候変動サービス」なども科学的根拠をもとに、歴史上最も高温になったと。本当に災害級の猛暑でした。この猛暑が地球温暖化によるものであり、パリ協定の「1.5℃」の目標達成が不可欠で、そのためにできることが沢山あると言われていますが、市民感覚として、それは浸透していません。公園清掃や海浜清掃、自治会やマンション管理組合の会議に毎月参加する熱心な人にも共有されにくい状態です。中には、地球温暖化は嘘だ、陰謀だと、言い張る人もいて、困ります。	1	地球温暖化対策の啓発にあたり、様々な広報媒体の活用は重要であると考えています。 市としても、市民や事業者の支援にとどまらず、一事業者として率先した行動を実施してまいります。	③

		<p>西宮市は、もっと深刻に、気候危機の問題を訴えていく啓発活動に取り組んでほしいです。西宮市も、他市のように、「気候非常事態宣言」を出し、危機感の啓発と省エネ等の活動参加への広報を、より大々的に、スケールアップして、推進してほしいです。がんばってください。ともにがんばりましょう。</p>			
23	計画全体について	<p>自然災害の悪化と地球温暖化に関連があることの啓発と対策強化を</p> <p>2018年9月4日の台風21号の高潮で御前浜の海岸は水没しました。豪雨や巨大台風の増加にもつながる地球温暖化問題への啓発強化、対策強化を望みます。環境問題と災害問題は密接に関連している取り組みの強化を望みます。</p>	1	<p>温暖化対策は地球規模の重要かつ喫緊の課題であり、実効性のある取組が必要です。</p> <p>国や県、他自治体の最新の動向等を踏まえて取り組んでまいります。</p>	③
24	計画全体について	<p>他の関連分野のセクターとの連携の強化を</p> <p>介護の世界では、猛暑による脱水症・熱中症は、高齢者の健康・命の脅威になっていて、とても関心が高いテーマです。しかし、地球温暖化問題への関心は、介護の世界で全然広がっていません。でも、介護の専門職は、とても多くいます。健康を守るためにも、環境問題にも取り組む必要があることを、介護分野で広げていきたいです。そのための連携を進めていってほしいと思います。</p>	1	<p>猛暑への対策は、地球温暖化への適応策としての側面があります。そのため、今回の本計画および上位計画である「西宮市環境基本計画」の中間改定においては、そういった様々な問題と環境との関わり、つながりを意識していただけるようコラムを整理、追加いたしました。</p> <p>引き続き、庁内関係部署との連携を図りながら、啓発に取り組むとともに、地球温暖化に係る適応策および緩和策の推進に努めてまいります。</p>	③

25	計画全体について	<p>他の関連分野のセクターとの連携の強化を</p> <p>住んでいるマンションは築48年で、古いままの窓サッシ、玄関ドアで、耐熱性・気密性・省エネ性能が非常に悪く、光熱費も高くついていました。巨大台風・豪雨があると、水が窓枠から侵入し大変になり、安心して住むことも脅かされていました。地球温暖化が進む中、マンションの修繕管理を適切に取り組む必要があることを、何度も資料配布し、話しあい、修繕積立金を値上げして、やっと、昨年、窓サッシ・玄関ドアを最新型に取替修繕できました。それにより、省エネ性能も大幅に改善し、電気代のランニングコストも減額できました。</p> <p>多くの経年マンションの管理組合、管理会社、マンション管理士のレベルで、そうした環境問題に関心をもって、マンションの管理修繕に取り組む動きは弱い状態であると思います。建物と住民の二つの老いの問題に直面する経年マンションの管理修繕が進むよう、連携して取り組んでいけたらと思います。マンション管理適正化法の改正があり、市の取り組みでも、その視点がほしいです。</p>	<p>1 住宅の省エネ性能を高めていく上で、断熱性や気密性の向上は大変重要と考えており、本市においても、令和4年度より、戸建住宅ZEH化及び断熱リフォーム促進補助事業を開始いたしました。本年度は、各家庭における省エネ、節電の取り組みを後押しする省エネ家電購入応援キャンペーンを実施するなど、より多くの皆様に地球温暖化の問題を意識し、行動していただけるよう取り組んでいるところです。</p> <p>また、地球温暖化対策・エネルギー施策に関する各種支援制度（補助・融資等）は上記の他にも様々あり、庁内関係課と連携し、市ホームページ （https://www.nishi.or.jp/kotsu/kankyo/kankyokeikaku/ondanka/ondankashien.html）に一覧で掲載を行っております。</p> <p>引き続き、様々な視点を持ちながら施策を推進するとともに、必要とされている方へ適切に情報をお届けできるよう庁内関係部署との連携を強化してまいります。</p>	③
----	----------	---	--	---

3. 「第二次西宮市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）中間改定（素案）」にかかる修正箇所対応表

① パブリックコメントの意見を受けて修正した箇所一覧

No.	意見No.	修正前	修正後	素案 ページ		
1	21	追加	<p>資料 16 用語解説</p> <table border="1"> <tr> <td><u>カーボンフットプリント</u></td> <td>直訳すると、「炭素の足跡」。英語表記 (Carbon Footprint of Products) の頭文字を取って CFPとも略称される。食品や日用品等について、原料調達から製造・流通・販売・使用・廃棄の全過程を通じて排出される温室効果ガスを二酸化炭素 (CO₂) に換算し、「見える化」したもの (単位: g (グラム)) で、LCA (ライフサイクルアセスメント、Life Cycle Assessment) の一手法と見ることできる。</td> </tr> </table>	<u>カーボンフットプリント</u>	直訳すると、「炭素の足跡」。英語表記 (Carbon Footprint of Products) の頭文字を取って CFPとも略称される。食品や日用品等について、原料調達から製造・流通・販売・使用・廃棄の全過程を通じて排出される温室効果ガスを二酸化炭素 (CO ₂) に換算し、「見える化」したもの (単位: g (グラム)) で、LCA (ライフサイクルアセスメント、Life Cycle Assessment) の一手法と見ることできる。	資-32
<u>カーボンフットプリント</u>	直訳すると、「炭素の足跡」。英語表記 (Carbon Footprint of Products) の頭文字を取って CFPとも略称される。食品や日用品等について、原料調達から製造・流通・販売・使用・廃棄の全過程を通じて排出される温室効果ガスを二酸化炭素 (CO ₂) に換算し、「見える化」したもの (単位: g (グラム)) で、LCA (ライフサイクルアセスメント、Life Cycle Assessment) の一手法と見ることできる。					
2	21	追加	<p>資料 16 用語解説</p> <table border="1"> <tr> <td><u>フードマイレージ</u></td> <td>食料の輸送量に輸送距離を掛け合わせた指標。食料の生産地から食卓までの距離が長いほど、輸送にかかる燃料や二酸化炭素の排出量が多くなるため、フードマイレージの高い国ほど、食料の消費が環境に対して大きな負荷を与えていることになる。フードマイレージを少なくするためには、地域で生産された旬の農林水産物を新鮮なうちにいただく地産地消が重要である。</td> </tr> </table>	<u>フードマイレージ</u>	食料の輸送量に輸送距離を掛け合わせた指標。食料の生産地から食卓までの距離が長いほど、輸送にかかる燃料や二酸化炭素の排出量が多くなるため、フードマイレージの高い国ほど、食料の消費が環境に対して大きな負荷を与えていることになる。フードマイレージを少なくするためには、地域で生産された旬の農林水産物を新鮮なうちにいただく地産地消が重要である。	資-34
<u>フードマイレージ</u>	食料の輸送量に輸送距離を掛け合わせた指標。食料の生産地から食卓までの距離が長いほど、輸送にかかる燃料や二酸化炭素の排出量が多くなるため、フードマイレージの高い国ほど、食料の消費が環境に対して大きな負荷を与えていることになる。フードマイレージを少なくするためには、地域で生産された旬の農林水産物を新鮮なうちにいただく地産地消が重要である。					

② パブリックコメントの意見以外で修正した箇所一覧

No.	修正前	修正後	修正理由	素案ページ
1	<p>なお、省エネ行動モニター事業（25 ページ参照）の結果では、実施率は低いエネルギー使用量の削減率の大きい省エネ行動を組み合わせることで、エネルギー使用量を10%～13%程度削減できる可能性があることが分かりました。</p>	<p>なお、省エネ行動モニター事業（26 ページ参照）の結果では、実施率は低いエネルギー使用量の削減率の大きい省エネ行動を組み合わせることで、エネルギー使用量を10%～13%程度削減できる可能性があることが分かりました。</p>	参照ページの修正。	53
2	<p>・・・家庭部門の削減目標では、ソフト面での取組（日常生活で取組める省エネ行動）の削減分として14.4%のうち5.6%を見込んでいます。 なお業務部門についても同様に、ソフト面での取組（普段の業務で取組める省エネ行動）による削減分として16.3%のうち4.1%を見込みます。</p>	<p>・・・家庭部門の削減目標では、ソフト面での取組（日常生活で取り組める省エネ行動）の削減分として14.4%のうち5.6%を見込んでいます。 なお業務部門についても同様に、ソフト面での取組（普段の業務で取り組める省エネ行動）による削減分として16.3%のうち4.1%を見込みます。</p>	誤字の修正。	53
3	<p>24 森林調査事業の実施 【継続】 二酸化炭素排出量削減や災害防止を目的とする森林環境贈与税を活用して、市域の面積の約37%を占める森林全域の調査を行い、現状を把握するとともに、森林整備の方向性を検討し、具体的な取組につなげていく。</p>	<p>24 森林調査事業の実施 【継続】 二酸化炭素排出量削減や災害防止を目的とする森林環境譲与税を活用して、市域の面積の約37%を占める森林全域の調査を行い、現状を把握するとともに、森林整備の方向性を検討し、具体的な取組につなげていく。</p>	誤字の修正。	80
4	<p>なお、21世紀後半に二酸化炭素の排出正味ゼロを達成できる厳しい温暖化対策を実施した場合（SSP1-2.6）でも、猛暑日日数は、基準期間から0～20日の増加、最大日降水量は、基準期間の100～120%になると予想されており、厳しい温暖化対策を実施した場合においても、気候変動による影響を避けることはできないことから、被害を回避・軽減していくため、緩和策に取り組む必要があります。</p>	<p>なお、21世紀後半に二酸化炭素の排出正味(実質)ゼロを達成できる厳しい温暖化対策を実施した場合（SSP1-2.6）でも、猛暑日日数は、基準期間から0～20日の増加、最大日降水量は、基準期間の100～120%になると予想されており、厳しい温暖化対策を実施した場合においても、気候変動による影響を避けることはできないことから、被害を回避・軽減していくため、緩和策に取り組む必要があります。</p>	出典資料により異なる用語の使用が見られるため併記。	88